

平成3年度（1991年度）

1. シンポジウム

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成3年 9月26日 (木) 参加者 326名	『免疫'91』 (千里栄生命ホール) － 演題 － ・リンパ球分化の分子機構 ・造血・リンパ球系細胞の増殖分化と調節因子 ・Tリンパ球の抗原認識 ・サイトカインによる細胞応答の制御：インターフェロン系を制御する核内因子IRF-1, IRF-2の働き ・腫瘍免疫を担う分子、パーホリン ・免疫病制御へのアプローチ	大阪大学医学部 教授 岸本 忠三 大阪大学細胞工学センター 教授 谷口 維紹 － 講師 － 京都大学医学部 教授 本庶 佑 熊本大学医学部免疫医学研究施設 教授 西川 伸一 九州大学生体防御医学研究所 教授 笹月 健彦 大阪大学細胞工学センター 教授 谷口 維紹 順天堂大学医学部 教授 奥村 康 大阪大学医学部 教授 岸本 忠三

2. セミナー

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成3年 9月20日 (金) 参加者 187名	『血管病変の分子生物学』第1回 (信用保証ビル3階) － 演題 － ・血流と内皮細胞 ・リポ蛋白と動脈硬化 ・血栓症と動脈硬化 ・マクロファージと動脈硬化 ・平滑筋細胞の相転換	国立循環器病センター研究所 副所長 山本 章 大手前病院顧問・大阪大学 名誉教授 垂井清一郎 － 講師 － 東京大学医学部 助教授 安藤 譲二 国立循環器病センター研究所 副所長 山本 章 鹿児島大学医学部 助教授 丸山 征郎 京都大学医学部 教授 北 徹 東京大学医学部 講師 永井 良三
10月25日 (金) 参加者 217名	ブレインサイエンスシリーズ 第2回 『成長因子』 (信用保証ビル3階) － 演題 － ・神経成長因子 (NGF) と老化 ・NGFとアストロサイト ・神経細胞の発育維持に関する諸因子 ・成長因子と脳 ・神経突起伸展因子とその受容体 ・NT-3 (NGF-2) とNGF	大阪大学医学部 教授 遠山 正彌 － 講師 － 大阪大学蛋白質研究所 教授 畠中 寛 岐阜薬科大学厚生薬学科助教授 古川 昭栄 国立精神神経センター神経研究所 部長 高坂 新一 大阪大学医学部 助教授 塩坂 貞夫 大阪大学医学部 教授 三木 直正 武田薬品工業(株)生物研究所 主席研究員 五十嵐 貢一
11月15日 (金) 参加者 100名	『蛋白工学・蛋白質の設計』 (信用保証ビル3階) － 演題 － ・アロ蛋白質 －非天然型アミノ酸を組み込む－ ・触媒抗体 (Catalytic Antibody) : 抗体工学の新しい展開 ・蛋白工学と酵素的ペプチド合成 ・人工蛋白質の創製 ・蛋白質の高次構造形成とその機能	(株)蛋白工学研究所 常勤顧問 池原 森男 － 講師 － 東京大学理学部 教授 横山 茂之 (株)蛋白工学研究所 主任研究員 藤井 郁雄 日本チバガイギー(株)国際科学研究所 プロジェクトリーダー 小久保利雄 (株)蛋白工学研究所 主任研究員 田中 俊樹 (株)蛋白工学研究所第3研究部部長 菊池 正和
12月6日 (金) 参加者	幹細胞シリーズ 第1回 『造血系』 (信用保証ビル3階)	大阪大学医学部 教授 北村 幸彦 自治医科大学 教授 三浦 恭定

117名	<p align="center">－ 演題 －</p> <ul style="list-style-type: none"> 造血幹細胞研究の現状と展望 G-CSFとそのレセプター EPOレセプターとフレンド赤白血病細胞の増殖 細胞間接触による造血の統御 －マスト細胞を例として－ 骨髄移植の現状と展望 	<p align="center">－ 講師 －</p> <p>自治医科大学 教授 三浦 恭定 大阪バイオサイエンス研究所 部長 長田 重一 東京医科歯科大学医学部 教授 井川 洋二</p> <p>大阪大学医学部 教授 北村 幸彦</p> <p>大阪府立成人病センター病院 第五内科部長 正岡 徹</p>
12月16日 (月) 参加者 117名	『遺伝子面からアプローチするガン研究の最先端』 (信用保証ビル3階) <p align="center">－ 演題 －</p> <ul style="list-style-type: none"> がんと遺伝子研究 C型肝炎ウイルスと肝細胞がん サイトカインと癌 －IL-6をモデルとして－ がんとゲノム解析 がんにおける変異遺伝子の検出 	大阪大学微生物病研究所 所長 豊島久真男 国立がんセンター研究所 部長 下遠野邦忠
平成4年 2月7日(金) 参加者 152名	『血管病変の分子生物学』 第2回 (信用保証ビル3階) <p align="center">－ 演題 －</p> <ul style="list-style-type: none"> コレステロール逆転送系とその異常 HDLの抗動脈硬化作用 マクロファージのスカベンジャー受容体の構造と機能及びヒト動脈硬化巣での発現 平滑筋細胞の増殖とサイトカイン トロンボキサン・プロスタグランジン受容体の分子構造と機能 	国立循環器病センター研究所 副所長 山本 章 京都大学医学部 教授 北 徹
3月6日 (金) 参加者 101名	ブレインサイエンスシリーズ 第3回 『高次脳活動』 (信用保証ビル3階) <p align="center">－ 演題 －</p> <ul style="list-style-type: none"> 進化からみた霊長類の脳 連合野の神経回路 随意運動の発動・制御と脳 ヒトの記憶の機能分化と局在 精神の老化と脳 	大阪大学人間科学部 教授 俣野 彰三 大阪大学医学部 教授 遠山 正彌

3. 千里ライフサイエンス技術講習会

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
第1回 平成3年 8月5日 (9:00~ 17:00) 参加者 22名	(場所:大阪大学医学部) 『神経科学: in situ ハイブリダイゼーション法』 <p align="center">－ 演題 －</p> <ol style="list-style-type: none"> IRの取り扱いについて 総論 (組織の処理、切片の作成法を含む) 実習 (第二解剖教室) <ul style="list-style-type: none"> 組織の処理、切片の作成法を non-R1プローブによるin situhyburidizationの概略 non-R1プローブによるin situhyburidization (一階組織実習室) 	大阪大学医学部 第二解剖 教授 遠山 正彌
		<p align="center">－ 講師 －</p> 和歌山県立医科大学解剖学第2講座 助教授 山下 仁平 大阪大学医学部附属バイオメディカル 研究教育センター高次神経医学部門 塩坂 貞夫、木山、和申、佐藤 木山 博資 木山、荒木、前野

8月6日 (9 : 00 ~ 17:00)	5. オリゴプローブによるin situ hybridizationの概要 6. オリゴプローブによるin situ hybridization (RI総合センター) 7. RNA (cDNA) プローブによるin situ hybridizationの概要 8. RNAプローブによるin situ hybridization (RI総合センター)	和歌山県立医科大学解剖学第2講座 仙波恵美子 仙波、塩阪、和中、佐藤 和歌山県立医科大学解剖学 第2講座 助手 和中 明生 和中、仙波、塩阪、木山、佐藤
8月7日 (9 : 00 ~ 12:30)	9. オートラジオグラフィーの手技の概要 10. フィルムおよび乳剤オートラジオグラフィー (RI総合センター)	大阪市立大学医学部解剖学第一講座 助教授 稲垣 忍 稲垣、塩阪、木山、和中

4. 情報化対応シリーズセミナー

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成3年 6月19日 参加者 61名	情報化対応シリーズ 第2回 『ライフサイエンス分野におけるデータベースの活用ーゲノムから蛋白までー』 (阪急グランドビル15階セミナールーム) － 演題 － ・ データベース概論 ・ ヒトゲノムデータベース ・ 大腸菌ゲノムデータベース ・ 核酸・アミノ酸データベース ・ 統合データベース ・ 蛋白質の立体構造の予測とドラッグデザイン	京都大学化学研究所 教授 金久 實 － 講師 － 京都大学化学研究所 教授 金久 實 国立遺伝学研究所 総合遺伝研究系 助教授 藤山秋佐夫 神戸大学理学部 教授 磯野 克巳 国立遺伝学研究所 遺伝情報分析センター 教授 五條堀 孝 九州大学農学研究科 遺伝子資源工学 助教授 久原 哲 北里大学薬学部 教授 梅山 英明

5. 調査研究

テーマ	期 日
創薬科学研究の推進に関する調査 (大阪府委託調査) バイオテクノロジー等先端技術導入による薬用植物資源の 機能的・効率的開発のあり方 ・ 大阪地域で創薬科学に関する技術的課題と動向 ・ 創薬に関する研究開発支援の必要条件	平成4年3月

6. 千里ライフサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

コーディネータ：国立循環器病センター 名誉総長、当財団 副理事長 尾前 照雄

実施月日	テーマ・演題	座長・講師
第1回 平成3年 3月9日 参加者 412名	『血圧』 － 演題 － ・ 開催にあたって ・ 血圧と成人病 ・ 高血圧と運動 ・ 食事と寿命-世界の長寿地域に学ぶ	－ 講師 － 岡田 善雄 尾前 照雄 福岡大学体育学部 教授 清永 明 島根医科大学 教授 家森 幸男

<p>第2回 5月18日 参加者 346名</p>	<p>『がん』 — 演題 — ・がん研究の流れについて ・生物にとってがんとは？ ・ライフスタイルとがん ・がんはここまで治る</p>	<p>尾前 照雄、岡田 善雄、藤本 伊三郎 — 講師 — 岡田 善雄 岡崎国立共同研究機構基礎生物学 研究所研究 主幹 江口 吾郎 大阪がん予防検診センター 調査部長 大島 明 大阪府立成人病センター 総長 佐藤 武男</p>
<p>第3回 9月7日 参加者 395名</p>	<p>『心臓病』 — 演題 — ・開催にあたって ・脈のみだれ（不整脈） ・狭心症・心筋梗塞 ・心臓外科はここまで進歩した</p>	<p>尾前 照雄、岡田 善雄、下村 克朗 — 講師 — 岡田 善雄 国立循環器病センター 医長 大江 透 岩手医科大学医学部 教授 平盛 勝彦 国立東静岡病 院長 藤田 毅</p>